

第102回リニアドライブ技術委員会議事録案

日時：平成18年12月1日(金) 13:30～16:30

場所：JR東海品川ビルA棟 中会議室1

出席者：委員長 小豆澤（神戸大）

副委員長 北野（JR東海）

委員 岩松（鉄道総研），海老原（東横女短大），大崎（東京大），荻田（JST），
坂井（安川電機），築島（三菱電機），渡辺（FDK），増澤（茨城大），
矢野（産総研），森下（東芝）

幹事 水野（信州大），村井（JR東海）

幹事補佐 真田（大阪府立大），鳥居（武蔵工業大）

提出資料

- 102-1 第101回リニアドライブ技術委員会議事録案（鳥居幹事補佐）
- 102-2 リニアドライブ技術委員会名簿（鳥居幹事補佐）
- 102-3 第82回産業応用部門研究調査運営委員会報告（小豆澤委員長）
- 102-4 平成19年度活動計画（二次案）（小豆澤委員長）
- 102-5 平成18年度リニアドライブ技術委員会活動報告（小豆澤委員長）
- 102-6 LDIA2007 First Announcement and Call for Papers（小豆澤委員長）
- 102-7 特定領域研究第3回公開シンポジウムプログラム（矢野委員）
- 102-8 平成18・19年度リニアドライブ関連各委員会予定一覧（鳥居幹事補佐）
- 102-9 LD技術委員会傘下の各委員会の資料提出スケジュール（案）（真田幹事補佐）
- 102-10 委員会構成員変更届（小豆澤委員長）
- 102-11 平成19年度リニアドライブ技術委員会開催予定（小豆澤委員長）
- 102-12 産業用リニア電磁駆動システムの要素技術調査専門委員会解散報告書（1次案）（鳥居幹事補佐）
- 102-13 産業用リニア駆動システムにおける要素技術の体系化調査専門委員会設置趣意書（1次案）（鳥居幹事補佐）
- 102-14 産業用リニア電磁駆動システムの要素技術調査専門委員会（MEL）活動報告（鳥居幹事補佐）
- 102-15 新世代の電気・磁気アクチュエータ調査専門委員会（NAD）活動報告（平田委員）
- 102-16 多自由度モータのシステム化技術調査専門委員会（MDD）活動報告（矢野委員）
- 102-17 第3回多自由度モータのシステム化技術調査専門委員会議事録（矢野委員）
- 102-18 第9回産業用リニア電磁駆動システムの要素技術調査専門委員会議事録（鳥居幹事補佐）
- 102-19 医用アクチュエーション技術に関する協同研究委員会解散報告書（061201案）（増澤委員）
- 102-20 医用アクチュエーション技術の体系化に関する協同研究委員会設置趣意書（061201案）（増澤委員）
- 102-21 医用アクチュエーション技術に関する協同研究委員会（ECD）活動報告（増澤委員）
- 102-22 第7回医用アクチュエーション技術に関する協同研究委員会議事録（増澤委員）

議事

1 議事録確認

資料102-1を用いて議事録の確認を行い、承認された。関連して、小豆澤委員長より、H19全国大会のシンポジウム提案は結局ゼロとなったことが報告された。

2. 報告事項

2.1 資料102-2を用いて、委員会名簿の確認が行われた。

2.2 資料102-3を用いて、小豆澤委員長より、10/6に開催された第82回D部門研究調査運営委の報告があった。設置趣意書に従来会員番号を記載していたが、会員・非会員の区分のみの記載へ変更された。今後設置される調査専門委員会は条件付きで3年も可となることが報告され、次期MEL委及びECD委への適用を持ち帰って検討することとした。産業応用フォーラムの開催数が昨年の11回から6回に減少したため、開催を推進する要請があった。さらに、web上で、部門誌投稿論文の査読マニュアルが公開されていることが報告された。関連して、資料102-4及び102-5を用いて来年度活動計画と今年度活動報告についての確認が行われ、活動報告の日時等の修正が行われた。

2.3 資料102-6を用いて、小豆澤委員長より、LDIA2007の紹介があった。2007.9.16-19にフランス・リールで開催される予定で、abstract 締切は2/15である。発表予定数の確認が行われ、各委員会で勸

誘と参加実数の把握を行うこととした。

- 2.4 資料 102-7 を用いて、矢野委員より、科研費「アクチュエータ」の公開シンポジウムの紹介があった。12/18-19 に仙台で開催される。参加費は無料であり、積極的な参加への呼びかけがあった。
- 2.5 資料 102-8 を用いて、H18・19 年度の予定を確認し、以下の修正があった。
 - (1) LD 研究会：1/25,26 は共催ではなくなったため削除。
 - (2) ECD 委：2/9 の開催予定を 2/16 に変更。
 - (3) MDD 委：12/8, 1/26 の開催予定を 12/22, 3/2 に変更。
 - (4) NAD 委：1/16, 3/16 の開催予定を追加。
- 2.6 資料 102-9 を用いて、資料提出スケジュールについての確認が行われた。関連して、新世代の電気・磁気アクチュエータ調専委の略称を NAD とすることが確認された。
- 2.7 小豆澤委員長より、NAD 委の追加委員についての報告があった。

3. 審議事項

- 3.1 資料 102-10 を用いて、小豆澤委員長より、真田幹事補佐の LD 技委からの退任の提案があった。真田幹事補佐から、運営のみに関する業務が府立大で認められないとの事情説明があり、承認された。
- 3.2 資料 102-11 を用いて、小豆澤委員長より、H19 年度の LD 技委開催予定の提案があった。上部委員会との前後関係で年 5 回が妥当なのか、との意見があり、委員会設置等の審議は実質上メール審議なので、問題ないとの回答があった。原案通り、4/13, 7/6, 9/28, 12/7, 2/1 に開催することを承認した。LD 研究会の開催についても、6,7,10,12,2 月の 5 回とし、6 月は LD 技委直轄で開催することとし、2 月は MEL 委と NAD 委の協賛を検討することとした。
- 3.3 資料 102-12,13 を用いて、鳥居幹事補佐より、産業用リニア電磁駆動システムの要素技術調査専門委員会の解散報告書案、産業用リニア駆動システムにおける要素技術の体系化調査専門委員会の設置趣意書案が朗読され、審議された。若干の字句の修正があり、成果報告の提出時期を H19 年 6 月に変更することとした。持ち帰って検討し、次回再度審議することとした。
- 3.4 資料 102-19,20 を用いて、増澤委員より、医用アクチュエーション技術に関する協同研究委員会の解散報告書案、医用アクチュエーション技術の体系化に関する協同研究委員会の設置趣意書案が朗読され、審議された。解散報告書には収支報告が必要との指摘があり、収支ともにゼロであることを追加することとした。技術報告の部数を 400、原稿提出時期を H19 年 6 月に変更することとした。設置趣意書について、アクチュエータよりアクチュエーション技術のほうが広い概念だから、アクチュエータに絞った記述は適切でないとの指摘があり、背景などの関連部分を修正し、調査検討事項についても再検討することとした。持ち帰って検討し、次回再度審議することとした。関連して、技術報告の出版に関する意見交換があった。

4 各調査専門委員会活動報告

資料 102-14～102-18, 102-21～102-22 を用いて、各調査専門委員会からの活動報告があった。

5 その他

小豆澤委員長より、LDIA2005 の報告書と管理委員会の設置についての現状報告があった。

以上